修復 文化村クリエイション vol.6

若木くるみ



しゅうふく 修復 わたくし 物語

2024

7.20 ＿ 9.23

土 10:00-17:00 月・祝

＊休館日｜月曜日（8/12、9/16、9/23は開館）、8/13、9/17

なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟3階
スタジオ 301・302

文化村クリエイション

修復 しゅうふく わたくし

文化村クリエイション



vol.6 若木くるみ

概要

文化村クリエイションは、先進的な取り組みを行うアーティストを招聘し、制作・発表を行うとともに、創作の過程を開いていく試みです。vol.6では美術家・版画家の若木くるみさんを招聘します。

見ると思わず「なるほど…」「おもしろい…!」と唸ってしまう若木さんの作品。確かな技術に裏打ちされ、複製、転写、反転などの特性を駆使して、版画の可能性を拡張しています。何よりそこには、心から創作を楽しむ様子と、日常の悲喜こもごもを創作のエネルギーへと転換する鮮やかさがあります。技法を礎に、しかし囚われることなく創作の「おもしろさ」を貪欲に追求する様子は、力強くしなやかです。

高校生の頃、将来の夢は修復家だった若木さん。文化財の修復工房を通年公開している、なら歴史芸術文化村の文化財修復・展示棟を訪れ、その憧れが蘇ったといいます。本企画ではスタジオを修復工房に見立て、修復家になりきって修復作業（制作）を行います。それは同時に、若木さんが自分自身の「修復」を試みる機会でもあるようです。

期間中は毎日、公開制作と作品展示を並行して行います。また本物の修復工房は立ち入ることができませんが、こちらでは修復家（若木さん）とお話しすることもできます。変容していく創作と展示、そして修練の場へ、ぜひ何度も足をお運びください。

最新情報

最新情報・関連企画はウェブサイトをご確認ください
https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/item/3654.htm



1.









2.



3.



4.



5.



6.

過去作品

1. 《シャブ富士》
2022年 32×44cm
2. 「四コマ版画」シリーズより
《グレンデ》
2023年 108.8×40cm
3. 《テクノロジーの波》
2024年 61×49cm
4. 《ひるね》
2023年 62×87cm
5. 「浮世離れ絵」シリーズより
《ソーシャルディスタン図》
2020年 47×33cm
6. 野菜でつくったベジ版画《ヤサ江》
2024年

略歴

美術家、版画家、ランナー。1985年北海道生まれ。2008年京都市立芸術大学美術学部美術科版画専攻卒業。木版画制作の他、身近な物を版として使用する版画作品や、自身が作品の一部となる作品の制作を行う。ランナーとしても活動し、246kmのマラソン・スパルタスロンを完走する経験も持つ。
主な受賞歴に第12回岡本太郎現代芸術賞 岡本太郎賞（2009）、六甲ミーツ・アート大賞（2013）、京都市芸術新人賞（2022）、個展に「若木くるみの制作道場」（坂本善三美術館、熊本、2013）、「版ラン!」（富山県美術館TADギャラリー、2018）、グループ展に「京都新鋭選抜展」（京都文化博物館、2021）、「TARO賞の作家III 境界を越えて」（川崎市岡本太郎美術館、神奈川、2023）他。

高校生の頃、奈良や京都には絵画修復の仕事があると知り、勉強は苦手だけど手先が器用だった自分の道はこれしかないと打ち震えました。すぐに修復専門学校の資料を取り寄せたものの、学費が高くて進学を諦めたのでした。

そんなことはすっかり忘れて、先日初めて、なら歴史芸術文化村を訪れ、修復工房を見学しました。かつての手仕事への憧れを思い出したと同時に抱いた率直な感想は、「もし修復家になっていたらネタ出しの苦闘から解放されていたのかな…」というものでした。

大学では木版画を専攻したのですが、版画の可能性を追い求めるあまり、ここ最近は波を刷ったり（※1）道路を刷ったり（※2）、トリッキーな版表現に傾倒していました。

飽き性ゆえ、完成度は度外視で実験作ばかりを量産してきましたが、文化財修理の現場に触れてからは、じっくり腰を据えて納得のいくまでひとつの課題にかじりついてみたいと思うようになりました。

既存の作品を守り伝える修復の仕事と、まだ見ぬ表現を模索する現代美術とは、本来相容れないものなのかもしれません。それでも、修復の手つきや眼差しを持って作品と対峙することで、今までおざなりにしてきたやりきることへの真剣さを身につけられはしないでしょうか。

文化財の宝庫である奈良というこの土地で、手仕事に没頭できる幸せを噛み締めながら、自分のふざけた制作姿勢を修復したいと思っています。

若木くるみ



※1 波を刷る若木さん



※2 若木さんの刷った道路



交通情報

なら歴史芸術文化村

文化村クリエイション

〒632-0032 奈良県天理市杣之内町 437-3
0743-86-4420（代表）

JR・近鉄天理駅より直行デマンドシャトル運行
直前に電話かアプリから要予約▶
所要時間：約10分 料金：300円

主催｜なら歴史芸術文化村
デザイン｜関川航平